

Monthlyミクス

ネキシウム手掛けるA Zと第一三共 HPで存在大きく
(12年10月 集計分) 上位10位

公開日時 2012/11/30 00:00

市場調査会社アンテリオが提供する、医師の記憶に残ったディテールを集計・分析する「Rep Track」をベースにした各製品のディテール数ランキング。

10月データでは、同月から長期投与が可能になったPPIネキシウムがHP市場の全ブロックで、創製元のアストラゼネカとコ・プロモーション相手の第一三共の両社でランキング1位、2位を独占した。GP市場でも東日本ブロックを除く4ブロックでランキング1位だった。また、GP市場では9月末に承認を取得したARBイルベサルタンとCa拮抗薬アムロジピンによる降圧配合薬アイミクスが一気にランキング上位に入った。

ネキシウムは約14年ぶりのPPIとして、11年9月に発売された。世界ではPPIでトップシェアを誇り、当然、日本市場でもトップシェアが目標。しかし、12年4～9月の国内売上は44億円、年間目標290億円に対して15%の進捗率で大苦戦となっている。9月までの長期投与制限が主因とされており、制限が解除された10月以降の巻き返しが注目される。医師の記憶に残ったディテール数を収集する同データからも、10月の活発なMR活動が確認された。

アイミクスは国内5番目のARBとCa拮抗薬の降圧配合薬。大日本住友と塩野義が共同販促する。特にGP市場では全国ランキングで一気に4位にランクイン。ブロック別でも、中日本ブロックの6位を除く4ブロックで、トップ5位入りを果たした。配合薬のルールによって14日処方制限の対象外となり、発売開始直後の処方増が期待されるためとみられる。

HP（100床以上）及びGP（99床以下）ごとに、全国ランキングのほか、東日本、京浜、中日本、近畿、西日本の5ブロックでまとめた。調査医師数は4000人（HP2400人、GP1600人）。

全国

HP

順位	前回順位	ブランド	メーカー	領域
1	(1)	ネキシウム	第一三共	消化性潰瘍
2	(2)	ネキシウム	アストラゼネカ	消化性潰瘍
3	(4)	イグザレルト	バイエル	血栓症
4	(3)	エクア	ノバルティス	糖尿病
5	(10)	ブラビックス	サノフィ	血栓症
6	(12)	ブラザキサ	NBI	血栓症
7	(5)	ジャヌビア	MSD	糖尿病
8	(9)	パリエット	エーザイ	消化性潰瘍
9	(*)	ネシーナ	武田薬品	糖尿病
10	(*)	トラゼンタ	イーライリリー	糖尿病

GP

順位	前回順位	ブランド	メーカー	領域
1	(1)	ネキシウム	アストラゼネカ	消化性潰瘍
2	(3)	エクア	ノバルティス	糖尿病
3	(2)	ネキシウム	第一三共	消化性潰瘍
4	(*)	アイミクス	大日本住友	高血圧
5	(5)	ジャヌビア	MSD	糖尿病
6	(10)	イグザレルト	バイエル	血栓症
7	(8)	トラゼンタ	NBI	糖尿病
8	(*)	アイミクス	塩野義	高血圧
9	(*)	ブラビックス	サノフィ	血栓症
10	(4)	テネリア	田辺三菱	糖尿病

西日本

鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

HP

順位	前回 順位	ブランド	メーカー	領域
1	(4)	ネキシウム	第一三共	消化性潰瘍
2	(1)	ネキシウム	アストラゼネカ	消化性潰瘍
3	(6)	ブラビックス	サノフィ	血栓症
4	(2)	エクア	ノバルティス	糖尿病
5	(11)	ネシーナ	武田薬品	糖尿病
6	(20)	トラゼンタ	イーライリリー	糖尿病
7	(8)	プラザキサ	NBI	血栓症
8	(12)	ゾシン	大正富山	感染症
9	(14)	ジブレキサ	イーライリリー	精神疾患
9	(6)	イグザレルト	バイエル	血栓症

GP

順位	前回 順位	ブランド	メーカー	領域
1	(3)	ネキシウム	アストラゼネカ	消化性潰瘍
2	(*)	アイミクス	大日本住友	高血圧
3	(2)	エクア	ノバルティス	糖尿病
4	(*)	ブラビックス	サノフィ	血栓症
5	(1)	ネキシウム	第一三共	消化性潰瘍
6	(3)	アジルバ	武田薬品	高血圧
7	(13)	リカルボン	小野薬品	骨粗鬆症
8	(9)	イグザレルト	バイエル	血栓症
9	(5)	ジャヌビア	MSD	糖尿病
10	(*)	アイミクス	塩野義	高血圧